

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

2023年6月12日

久留米市長 殿

提出者

住所 久留米市旭町67

氏名 学校法人 久留米大学

理事長 永田 見生

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0942-31-7870

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	学校法人 久留米大学
事業場の所在地	久留米市旭町67
計画期間	2023年4月1日 から 2024年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	大学、専修学校、病院、研究所
② 事業の規模	1,018床
③ 従業員数	2,856名
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	(感染性廃棄物) ・ 自社焼却場にて焼却 → 残渣(燃え殻) → 埋立処分(管理型) ・ 委託業者にて焼却 → 残渣(燃え殻) → 埋立処分(管理型) (ばいじん) ・ 委託業者にて安定化処理 → 埋立処分(管理型)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

	【管理責任者】	【現場統括管理責任者】	【現場責任者】
(病院)	病院長	診療部長	看護師長
(医学部)	医学部長	教授	教育・研究職員
(研究所)	所長	研究部門の長	教育・研究職員

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	ばいじん
	排出量	285.2 t	30.8 t
	(これまでに実施した取組) ① 研修会等を利用した廃棄物分別指導の徹底 ② 廃棄物対策実行委員会を主体とした、廃棄物削減に向けた取り組みの実施（部門ごとに削減目標値を設定し、削減に向けた取り組みの実施、及び評価を行った） ③ 廃棄物の減量及び分別徹底について、紙面による啓発資料を作成し、教職員への周知徹底を行った		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	ばいじん
	排出量	285.2 t	30.8 t
	(今後実施する予定の取組) ① 研修会等を利用した廃棄物分別指導の徹底（毎年実施） ② 紙面やHPによる啓発活動の実施 ③ 廃棄物対策実行委員会を主体とした、廃棄物削減及び資源物増量に向けた取り組みの実施		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 感染性廃棄物 排出抑制と同様の取り組みを実施すると共に、写真付き廃棄物分別実施要綱を廃棄BOXの蓋に貼付け、他廃棄物の混入がない様に取り組んでいる
② 計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 新たな分別予定なし 排出抑制と同様の取り組み実施予定

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	264.9 t	t
	(これまでに実施した取組) 適正な処理が行えるよう、施設の点検・整備を実施		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	264.9 t	t
	(今後実施する予定の取組) 前年度同様、施設の点検・整備に努める		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	ばいじん
	全処理委託量	20.3 t	30.8 t
	優良認定処理業者への処理委託量	14.9 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 適正処理を行っている業者の選定及び視察による適正処理の確認		

② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	ばいじん
	全処理委託量	20.3 t	30.8 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	14.9 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 前年度同様、適正処理の確認を行う		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（2022年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	14.9	t
	(今後実施する予定の取組等) 2021年4月より加入済み		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トンを超える者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。